

2012年6月19日

企画特別講演
講演者各位

一般社団法人 日本数学会
理事長 宮岡 洋一

拝啓
ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

この度は、2012年度秋季総合分科会(於九大数理)における企画特別講演をお引き受けいただきありがとうございました。この件につきまして、ご連絡とお願いがいくつかございますので書簡をお送りします。

(1) (著作権の規定) 総合講演・企画特別講演の抽象集に関する著作権の規定を設けました (URL <http://mathsoc.jp/meeting/kikaku/> にあります)。この規定では、(i)著作権全般が講演者に残り、(ii)抽象集を販売して、電子版を公開するための最低限の著作権である、頒布権・複製権・公衆送信権を日本数学会が保持することを規定しております。その結果として講演者および日本数学会の双方がこの3つの権利を保持することになりますが、そのことを考慮して再録、個人のホームページ上への掲載、機関レポジトリなどに関する規定を設けております。企画特別講演の総合報告的な性格を配慮して、具体的な事例を想定した上で、講演者の皆様が学術・教育に円滑に抽象集を利用して頂けますようにこれらの規定を定めています。以上のことをご理解いただきますようお願い申し上げます。

(2) (講演情報の登録) 日本数学会のアプリケーションサーバー <https://app.mathsoc.jp/> において、講演題目、所属、使用するプレゼンテーション機器などについて登録をお願いいたします。この URL にアクセスしていただき、そこにある一般講演の申込と同じメニューで講演申込システムにログインします。締め切りは、7月1日(日)23:59までとします。

まだ activation をしていない場合は、そこから始めて下さい。また、数学会の会員でない場合は、担当理事の戸瀬信之 tose@mathsoc.jp と事務局の長谷川暁子 shomu-msj@carrot.ocn.ne.jp までご連絡ください。仮のアカウントを作成いたします。

また、企画特別講演のためのデータ入力については、オンラインシステムの補足のためのマニュアル http://mathsoc.jp/comm/netadmin/MSJ-CONF/manhtml_sp/ も用意してありますので、ご覧下さい。

(3) (抽象集の作成について、J-Stage への掲載) 従来は紙媒体で抽象集原稿を提出頂いておりました。前々回から、J-Stage に抽象集を掲載するために、以下の電子データを提出して頂きますようお願いしています。これらは、抽象集をなるべく高品質な形で早期に電子化・公開するためです。

1. **TEX ソース一式** **tex** のソース、スタイルファイル、画像ファイルなどの一式を提供していただきます。これらは、全文検索を可能とするために必要となり、また文献データを作成するのに必要となります。もし余白などの調整が必要な場合は、数学会のクラスファイルによって再コンパイルを行った上で、講演者に校正をお願いすることもあります。また、企画特別講演のための情報のページ <http://mathsoc.jp/meeting/kikaku/> には企画特別講演用の **Latex** クラスファイルを準備してあります。これを用いて抽象集を作成していただければ、校正などの手間も省けると思います。
2. **Bib ファイル** 講演抽象集のメタデータを記述するファイルです。雛形を <http://mathsoc.jp/meeting/kikaku/> においてありますので、ダウンロードしてご記入ください(このページは、2012年度秋季総合分科会のページ <http://mathsoc.jp/meeting/kyushu12sept/> からもリンクしてあります)。2010年度年会の総合講演の **bib** ファイルもサンプルとして公開してあ

ります。メタデータは、データベース検索を効率的にする上で重要なものであることをご理解ください。また、キーワードの記述については、多少複雑ですので、この書簡の付記として説明しておきました。

上にある TEX でアブストラクトを作成することはあくまでも原則と考えております。もし TEX を用いてアブストラクトを作成できない場合は、紙媒体でお送りください。そのときは、できる限りの電子ファイル (MS ワードや Open Office のファイルや PDF ファイルなど) を一緒にお送りください。数学会の方で、可能な限りの編集作業を試みることとします。これは、TEX の dvi ファイルを作成できても、画像をその中にはめ込むことができない場合も当てはまります。ただし、数学会側の編集作業が難しい場合は、紙媒体によるアブストラクト原稿をスキャンして得る PDF ファイルを電子版として掲載することを予めご承知ください。また、この場合は情報システム運用委員会担当理事 tose@mathsoc.jp に締め切り前に余裕をもってお知らせ頂ければ助かります。

なお、担当の分科会評議員を通してご連絡いたしておりますが、以下のこともよろしく願いいたします。

- i. ホームページ http://mathsoc.jp/meeting/texstyle/abstract_2011.pdf 掲載されている「学会アブストラクトの書式」(2011 年会員名簿版) を参考にして、アブストラクトの作成をお願いいたします。ページ数は 10 枚程度といたします。
- ii. また、アブストラクト集の目次の氏名(所属)の下に講演者のプロフィールをいれますので(企画特別講演のための情報のページに見本があります)、その原稿の作成もお願いいたします。

以上の **1 TEX ソース一式**および **2 Bib ファイル**、**ii プロフィール** のデータを、**電子メールまたは CD-R** で以下の送付先に **8月13日(月)まで必着**でお送りください。また著作権に関することおよび技術的なことは担当理事の戸瀬信之 tose@mathsoc.jp までご照会ください。

送付先 〒110-001
東京都台東区台東1-34-8
社団法人 日本数学会
企画特別講演プログラム委員宛
E-mail: msjchou@muse.ocn.ne.jp

敬具

(付記)キーワードの記述について

Bib ファイルにおけるキーワードの記述は、原則として、対応する英語キーワード・日本語キーワードの組を

en-keyword: Schrödinger Equation

kn-keyword: シュレディンガー方程式

の 2 行 1 組で行います。ただし、ここでの英語、日本語は、それぞれ英語画面におけるキーワード、日本語画面におけるキーワードという意味です。例えば、Schrödinger equation について英文画面、日本語画面の両方において Schrödinger Equation を表示したい場合は

en-keyword: Schrödinger equation

kn-keyword: Schrödinger equation

とします。英語画面で Schrödinger equation、日本語画面で Schrödinger equation とシュレディンガー方程式の両方を表示したいときは

en-keyword: Schrödinger equation

kn-keyword: Schrödinger equation

kn-keyword: シュレディンガー方程式

と記述していただければうまくいきます。なお、アクセント記号と数式は tex の形式で記述をお願いします。JST と協議の上、適切な標記に変換いたします。